

令和 6 年度

横芝光町決算審査意見書

農業集落排水事業会計

及び基金運用状況

横芝光町監査委員

横 監 第 1 5 号
令和 7 年 8 月 2 6 日

横芝光町長 佐藤 晴彦 様

横芝光町監査委員 大木 薫

横芝光町監査委員 鈴木 克征

令和 6 年度横芝光町農業集落排水事業会計決算審査意見について

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定により審査に付された令和 6 年度横芝光町農業集落排水事業会計決算及び証拠書類、その他政令で定める書類を審査したので、別紙のとおり意見を提出します。

決 算 審 査 意 見

第 1 審査の対象

令和 6 年度 農業集落排水事業会計決算

第 2 審査の期間

令和 7 年 8 月 2 0 日

第 3 審査の手続き

決算審査に当たっては、決算報告書、事業報告書及びその他関係書類について、決算の計数は正確であるか、予算の執行は適正で効率的に行われているか、また、財務に関する事務は公営企業法等の関係法令に準拠して作成され、かつ、事業の経営成績や財務状態が適正に表示されているかなどの諸点に留意し、関係帳簿その他証拠書類を照合精査するとともに関係職員の説明を求め、審査を実施した。

第 4 審査の結果

審査に付された事業会計決算報告書等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿その他証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、事業の運営は、地方公営企業の原則に留意して適性に行われ、予算の執行もおおむね所期の目的に沿って執行されたものと認められた。

なお、決算の概要及び審査意見は別途記載のとおりである。

第5 決算の概要

1 業務実績

事 項	単位	令和6年度	令和5年度	比 較	
				増減	増減率(%)
接続人口	人	551	549	2	0.4
接続率	%	81.1	81.6	△ 0.5	△ 0.6
接続件数	件	181	186	△ 5.0	△ 2.8
年間総処理水量	m3	57,719	58,959	△ 1,240	△ 2.1
一日平均処理水量	m3	158	161	△ 3.0	△ 1.9

2 決算状況

(1) 収益的収入及び支出

(収益的収入)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	収入率	前年度 収入率
	千円	千円	千円	%	%
農業集落排水事業収益	67,093	66,700	△ 393	99.4	
営業収益	8,162	8,008	△ 154	98.1	
営業外収益	58,930	58,692	△ 238	99.6	
特別収益	1	0	△ 1	0.0	

注：消費税及び地方消費税を含む。

農業集落排水事業収益は、予算現額 67,093 千円に対し、決算額は 66,700 千円（うち仮受消費税額 728 千円）である。予算現額に対する収入率は 99.4%である。

(収益的支出)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率	前年度 執行率
	千円	千円	千円	%	%
農業集落排水事業費用	65,289	61,450	3,839	94.1	
営業費用	60,345	57,544	2,801	95.4	
営業外費用	3,494	3,493	1	99.9	
特別損失	450	413	37	91.8	
予備費	1,000	0	1,000	0.0	

注：消費税及び地方消費税を含む。

農業集落排水事業費用は、予算現額 65,289 千円に対し、決算額は 61,450 千円（うち仮払消費税額 1,014 千円）である。

予算現額に対する執行率は 94.1%で、不用額は 3,839 千円である。

支出の主なものは、営業費用の減価償却費である。

(2) 資本的収入及び支出

(資本的収入)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	収入率	前年度 収入率
農業集落排水事業	千円	千円	千円	%	%
資本的収入	36,243	36,242	△ 1	99.9	
企業債	3,000	3,000	0	100.0	
他会計補助金	33,242	33,242	0	100.0	
負担金	1	0	△ 1	0.0	

注：消費税及び地方消費税を含む。

資本的収入は、予算現額 36,243 千円に対し、決算額は 36,242 千円である。予算現額に対する収入率は 99.9%である。

(資本的支出)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率	前年度 執行率
農業集落排水事業	千円	千円	千円	%	%
資本的支出	39,225	39,224	1	99.9	
建設改良費	5,842	5,841	1	99.9	
企業債償還金	33,383	33,383	0	100.0	

注：消費税及び地方消費税を含む。

資本的支出は、予算現額 39,225 千円に対し、決算額は 39,224 千円である。

予算現額に対する執行率は 99.9%である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 2,982 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 273 千円、引継ぎ金 90 千円、当年度分利益剰余金 2,619 千円で補填している。

3 経営状況

(1) 収支

(総収益・総費用)

区 分	営業収益（総収益）		営業費用（総費用）		差引額 (純利益)	総収支比率 A/B
	金 額 A	前年度比	金 額 B	前年度比		
	千円	%	千円	%	千円	%
6年度	65,937	皆増	60,960	皆増	4,977	108.2
5年度	0	0.0	0	0.0	0	

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

本年度の営業収益（総収益）は 65,937 千円、営業費用（総費用）は 60,960 千円で、本年度決算における純利益は 4,977 千円である。

(営業収益・営業費用)

区 分	営業収益		営業費用		差引額 (営業利益)	営業収支比率 A/B
	金 額 A	前年度比	金 額 B	前年度比		
	千円	%	千円	%	千円	%
6年度	7,280	皆増	56,529	皆増	△ 49,249	12.9
5年度	0	0.0	0	0.0	0	

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

営業収益から営業費用を引くと、本年度の営業利益は△49,249 千円である。その損失を補填するため、他会計補助金などの営業外収益でこれを補ったものである。

なお、営業活動の成果を示す営業収支比率は 12.9%である。

(2) 収益

(事業収益)

科 目		6年度		5年度		比較増減額	増減率
		金 額	構成比	金 額	構成比		
		千円	%	千円	%	千円	%
1	農業集落排水事業収益	65,937	100.0	0	0.0	65,937	皆増
	1 営業収益	7,280	11.0	0	0.0	7,280	皆増
	2 営業外収益	58,657	89.0	0	0.0	58,657	皆増
	3 特別利益	0	0.0	0	0.0	0	—

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

営業事業収益は 65,937 千円で、これを科目別にみると、営業収益は 7,280 千円で、営業外収益は 58,657 千円である。

(3) 費用

(事業費用)

科 目		6年度		5年度		比較増減額	増減率
		金 額	構成比	金 額	構成比		
		千円	%	千円	%	千円	%
1	農業集落排水事業費用	60,960	100.0	0	0.0	60,960	皆増
	1 営業費用	56,529	92.7	0	0.0	56,529	皆増
	2 営業外費用	4,017	6.6	0	0.0	4,017	皆増
	3 特別損失	414	0.7	0	0.0	414	皆増
	4 予備費	0	0.0	0	0.0	0	—

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

農業集落排水事業費用は 60,960 千円で、営業費用は 56,529 千円、営業外費用は 4,017 千円で、特別損失は 414 千円である。

4 財政状態

(1) 資産の部

科 目	6年度		5年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 固定資産	1,006,204	99.6	0		1,006,204	皆増
2 流動資産	4,547	0.4	0		4,547	皆増
3 繰延勘定	-	-	-		-	-
資産合計	1,010,751	100.0	0		1,010,751	皆増

(2) 負債資本の部

科 目	6年度		5年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 固定負債	144,402	14.2	0		144,402	皆増
2 流動負債	36,303	3.6	0		36,303	皆増
3 繰延収益	675,024	66.8	0		675,024	皆増
負債合計	855,729	84.6	0		855,729	皆増
4 資本金	129,113	12.8	0		129,113	皆増
5 剰余金	25,909	2.6	0		25,909	皆増
資本合計	155,022	15.4	0		155,022	皆増
負債資産合計	1,010,751	100.0	0		1,010,751	皆増

ア 負債の部

本年度の負債合計は855,729千円である。

イ 資本の部

本年度の資本合計は155,022千円である。

(3) 財務比率

財政比率の推移

区 分	算 式	6年度
自己資本 構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{総資本（負債} + \text{資本）}} \times 100$	82.1
固定資産対 長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	103.3
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	207.7

自己資本構成比率は、総資本に占める自己資本の割合を示すものであり、この割合が大きいほど経営の安全性が高く、50%以上が望ましいとされる。本年度は82.1%となっている。

固定資産対長期資本比率は、長期の安全性を示すもので、この割合は100%以下が望ましいとされており、本年度は103.3%となっている。

流動比率は、短期債務に対する支払能力・運転資金の状況を示すもので、企業の経営

上からは少なくとも流動負債に見合う流動資産があることが必要であり、200%以上が理想とされている。本年度は207.7%となっている。

むすび

令和6年度から公営企業会計制度を運用し、本事業を経営しているところであるが、接続件数は181件で、前年度と比較して5件減少となっており、今後も空港関連による移転と地域の人口減少が見込まれることから、農業集落排水処理施設使用料の収入の減少、建設企業債償還金、農業集落排水処理施設等の老朽化による、維持管理費が増大し経費がかかるため、今後も一般会計からの繰入金が必要であると考えられるが、経営状況の明確化と経営の効率化、健全化を目指し、農業集落排水処理施設の適切な維持管理、安定したサービスの提供に努められたい。